

骨脆弱性骨折により整形外科治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

恒心会おぐら病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。

このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、日々の臨床活動で実施しております。

この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は主治医へご連絡ください。

【研究課題名】 骨脆弱性骨折患者のビタミン K 不測の実際と補充による骨折予防効果への影響について

【研究代表者】 整形外科 小倉 雅

【研究の目的】 骨税癩性骨折患者の入院時におけるビタミン K 摂取状況を調査し、適切な治療介入を行うことによる二次骨折予防につながる。

【研究の方法】

*対象となる患者さん

骨脆弱性による椎体骨折・大腿骨骨折と診断され入院加療された方

【個人情報の取り扱い】

名前、住所など個人が特定できる情報は、厳重に管理し個人特定ができない状態で保管します。なお、研究成果の学会発表や研修会報告の際は個人の同定ができないように配慮する。

対象となる方の選定等については恒心会おぐら病院臨床研究倫理委員会の審査を経て、その承諾事項を遵守して実行します。

【研究の参加を希望されない方へ】

この研究への参加（データ提供）を希望されない場合は、主治医へ申し出てください。